

改革の継続と安定した成長のために

平成19年10月4日

伊藤隆敏

丹羽宇一郎

御手洗富士夫

八代尚宏

人口減少・少子高齢化の進展、グローバル化、世界的に取り組むべき環境問題など、わが国が置かれている経済社会環境に鑑みれば、成長力強化と財政健全化を両立させる以外に取るべき道はない。

総理が就任会見で述べられた「現状打破を通じた新しい未来の構築」に向けた改革の推進こそ、経済財政諮問会議が果たすべき役割である。諮問会議としては、改革の姿、政策の選択肢をわかりやすく提示しながら、改革を着実に進めていくことが重要である。そのため次のような基本的な考え方、課題設定を提示した上で、今後の議論の進め方について、提案を行いたい。

1. 改革の基本的考え方

- ・ 成長力強化と財政健全化を重点とする改革を今後も継続する。
- ・ 改革実行にあたって、消費者や生活者の視点に立ち、地域や生活の場で、実感できる成果を着実に上げていくことを重視する。
- ・ 歳出歳入一体改革を堅持する。

2. 主要課題

国民の関心の高い、以下の3つの重点課題を中心に審議を進めてはどうか。その際、「現状の問題点」、「改革の選択肢」やそれぞれの「効果、長所・短所」を提示して議論を進める（今後の審議

のポイントは、別添参照)。また、成長力強化の観点から、成長力加速プログラム、グローバル化改革等を引き続き推進する。

- ① 地域経済の建て直し
- ② 社会保障制度と財源のあり方（社会保障と税）
- ③ 歳出改革（予算に向けて）

3. 今後の進め方

- ・ 年末まで、上記の主要課題を中心に審議を進め、福田内閣における改革方針を具体化し、その成果を、20年度予算案、経済財政改革の中期方針（「進路と戦略」）等に反映する。
- ・ 経済財政運営に大きく影響する課題、緊急にとるべき経済財政政策等については、随時、議題として取り上げ、その考え方を明確にする。
- ・ 地方の声を諮問会議の審議に反映させるため、10～11月を目処に、民間議員を中心に地方に出向き、地域の課題について討論を行う。

(別添) 今後の審議のポイント

1. 地域経済の建て直し

(1) 地域経済建て直しの新プランの策定

関係大臣から基本構想や、その柱となるべき改革プランを提示していただき、議論を進め、年内に策定すべきである。

◆ 同プランに盛り込むべき基本的視点・新たな仕組み

- ① 省庁別縦割りの政策メニューを一体化、総動員すること
 - ② 中央省庁主導ではなく、地方が自らのニーズに応じてプログラム内容を自由に決められることができる交付金・補助金とすること
 - ③ 民間人(都会に住むふるさと人材を含む)をプラン推進の中心人物とし、“企画から実施まで”、民間と地域の現場発想が活かされること
 - ④ 真に必要な地域を選んで面的広がりをもった施策を集中させ、成功例を確実につくること
 - ⑤ 全国一律ではなく、バラマキを厳に排すること
- こうした視点を具体化する新たな仕組みを創設すべきである。

◆ 上記に加え、柱となるべき主な項目

- ① 中小企業の生産性改革
⇒低生産性部門について、バラマキを排し、数値目標を掲げて生産性を向上
- ② 農業・農地改革
⇒攻めの農政に向け、“所有から利用へ”の観点で農地を集約化・規模拡大を行う。農家が将来展望をもてる環境づくりに取り組む。
- ③ 公共投資改革
⇒高齢化や環境問題に対応した都市づくり・地域づくりなど、公共投資を効率化・重点化する。
- ④ 地域力再生機構の創設
⇒民間を最大限活用し中核企業や三セクを本格的に再生する。同時に、地域再生を牽引する金融システム改革を推進する。

(2) 地方分権改革の推進

地方分権改革推進委員会と連携して、自治体が独自に地域経営を行えるよう以下の改革を中心に進めるとともに、その総仕上げである道州制の実現に向けた検討を加速すべきである。

- ① 補助金・税源配分・交付税・地方債を一体とした改革
- ② 地方支分部局の抜本的な改革(道州制移行への第一歩)
- ③ 条例制定権の拡大

2. 社会保障制度と財源のあり方(社会保障と税)

社会保障制度と財源のあり方をセットで捉え、給付と負担の水準について、国民的議論を行うことが重要である。その際、制度改革の選択肢や将来推計をベースに、将来像(あり方)を示しつつ議論を進める。

- ◆ 給付と負担の選択肢の提示……社会保障の将来像を描くために、給付と負担の水準について、国民にわかりやすい複数の選択肢を示す。
- ◆ 年金制度・医療制度の改革選択肢の提示
 - ① 持続性の高い年金制度(特に基礎年金)に向けた改革選択肢
 - ② 医療(特に高齢者医療)のあり方について給付と負担等の選択肢
- ◆ 税体系の改革……高齢化やグローバル化等に対応した税体系を、政府税調と連携しながら審議
- ◆ 「骨太 2007」における社会保障改革の具体化
 - ① 社会保障カードの全体構想を年度内目途にとりまとめ
 - ② 医療・介護のコスト構造是正策の具体的推進
 - ③ 医師不足対策等への取組みと上記②との両立を図った医療費増大の抑制
 - ④ 5年間の歳出削減計画に沿った制度改革の道筋の明確化

3. 歳出改革(予算に向けて)

- ◆ 「骨太 2006」、「骨太 2007」の歳出改革に沿った予算編成の考え方
(公共事業、社会保障、少子化対策、教育再生等)

※ 成長力加速プログラムは着実に実行し、タスクフォースによって効果を検証しつつフォローアップを行う。必要に応じて、追加策を検討する

※ グローバル化改革(EPA、金融・資本市場改革等)、労働市場改革については、専門調査会報告を受けて議論を進める

※ ジョブカードの実施、最低賃金の中期方針の策定については、成長力底上げ円卓会議で議論を進め、必要に応じて諮問会議で議論する